



【調査の概要】

*「大阪府」は「大阪・公立学校」の結果を表しています。

- 実施日： 令和6年4月17日（水）～4月25日（木）
- 実施校数・実施児童数 小学校：41校（5年生：2,734人）（6年生：2,602人）
- 学力に関する調査 5年生：国語・算数・理科・教科横断型問題「わくわく問題」
6年生：理科・教科横断型問題「わくわく問題」
- 学習や生活の状況・学校の取組に関する調査 アンケート（児童）・（教員）

【調査結果の取扱い】

本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いいたします。
調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童の全般的な学習状況等の改善につなげることが重要と考えます。

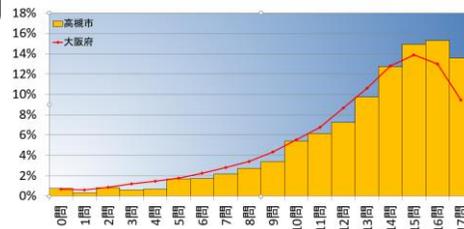
□良好 ■課題

② 正答数分布・領域等別正答率（大阪府を1.0とした場合）/対府比

5年 国語（設問数17問）

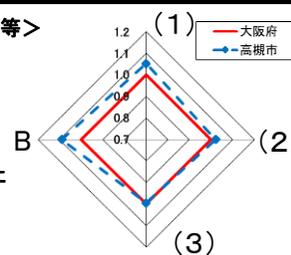
□文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分を書き直ることができる。

■書かれた文の意味を正しく捉え、適切な漢字を使って書くことができる。



<学習指導要領の領域等>

- (1) 言葉の特徴や使い方に
関する事項
- (2) 情報の扱い方に
関する事項
- (3) 我が国の言語文化に
関する事項



① 教科別正答率（大阪比）

	教科	高槻市	大阪府	差(対大阪府)
5年生	国語	76.8	73.4	3.4
	算数	37.5	36.7	0.8
	理科	63.6	61.9	1.7
6年生	理科	66.2	63.7	2.5
5・6年生	わくわく問題	67.2	63.3	3.9

5年 算数（設問数7問）

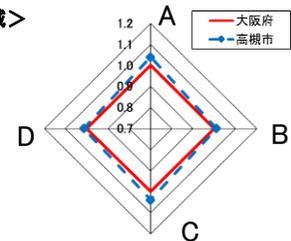
□伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□や△を用いてその関係を式で表すことができる。

■円と長方形の性質に着目し、その違いをもとにして説明することができる。



<学習指導要領の領域>

- A 数と計算
- B 図形
- C 測定
- D 変化と関係



5年 理科（設問数11問）

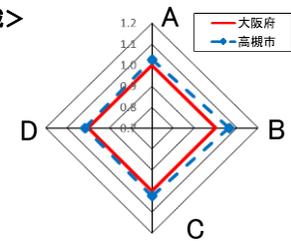
□日光の集め方であたかさが変化することを理解している。

■磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解し、身の回りの物を分類することができる。



<学習指導要領の領域>

- A エネルギー
- B 粒子
- C 生命
- D 地球



6年 理科（設問数11問）

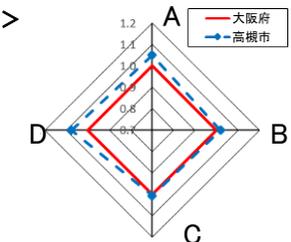
□電磁石の性質について理解し、電磁石が実際にどのように使われているか考えることができる。

■水は加熱されなくても蒸発して水蒸気となり空気中に含まれていくことを理解し、実際の現象にあてはめて考えて、書き表すことができる。



<学習指導要領の領域>

- A エネルギー
- B 粒子
- C 生命
- D 地球



5,6年 わくわく問題（設問数9問）

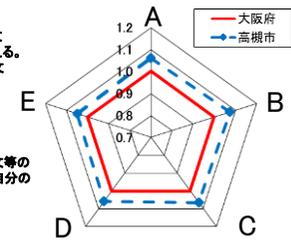
□身近にある問題点や見聞きした社会的な課題を自分のこととしてとらえ、解決に向けて考えたことを文章で書くことができる。

■複数の情報を読み取ったことをもとに、論理的に思考し、正しい答えを導くことができる。



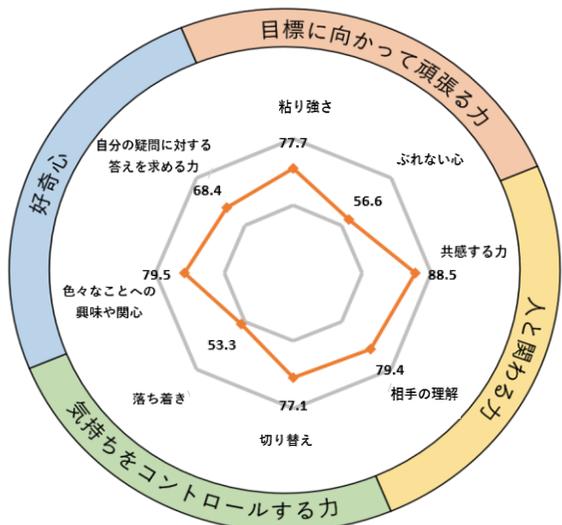
<観点>

- A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて正しくとらえる。
- B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
- C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
- D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
- E 興味・関心のある事柄について、意欲的に工夫して相手に伝える。



③ 児童アンケート

「未来に向かう力」「好奇心」レーダーチャート



上記のレーダーチャートは、「粘り強さ」や「ぶれない心」等、大阪府教育庁が設定した指標に基づき、児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値(ポイント=平均÷合計×100)。